

CMSC群馬・荒井選手、堂々の2位。

'88JMSダートラシリーズ第3戦

5月15日
鈴鹿サーキット

IN 鈴鹿

雨の降りしきる5月15日、JMSダートトライアルツアーシリーズの第3戦が鈴鹿サーキットで行なわれた。当日のコースコンディションはヘビーウェットで内周部はほとんど泥沼と化しているほど。そんなヘビーなトライアルの中で、1本目のベストタイムをマークしたのはギャランVR-4に乗る長井選手であった。第2戦で3位に入賞するなど、このところ好調な走りを見せているCMSC群馬の荒井選手は、他の選手に貸したタイヤが、自分の走行順までに戻ってこないといったアクシデントのため、1本目のトライアルには出走できず。通常であれば、これでくさってしまったり、動揺を見せてしまうところだが最近では乗っている荒井選手、少しもあわてずに2本目のトライアルに一発勝負をかけた。

万を期してスタートした2本目、本人は抑えながらの走行とのことであったが、1分36秒51の好タイム。優勝こそ逃しはしたが、一発のトライアルで堂々の2位入賞を果たした。荒井選手はこのシリーズの活躍の他、各地でのダートトライアルでも好成績をあげ、CMSCチャレンジカップのスラローム部門でも現在トップを独走中。ハイパワーVR-4はダートラでも実力を発揮中といったところである。



第3戦で2位に入賞した荒井選手のバワフルな走り



CMSC山形よりエントリーの砂塚選手



表彰式でなごやかな表情を見せる荒井選手(左端)

荒井選手(CMSC群馬)3位、VR-4上位独占。

'88JMSダートラシリーズ第2戦

4月16~17日
テクニクスステージタカダ

IN 広島

ぐちゃぐちゃの鈴鹿とは全く対症的なカラカラのドライな状況で行なわれた第2戦は、4月16日~17日広島県高田郡にあるテクニクスステージタカダにて開催された。16日の公開練習は好天すぎるほどの天候となり、自分のホコリでコースが全く見えなくなるといった状態。決勝当日は主催者によるコース整備のおかげでホコリもおさまりと安心。約5,000人のギャラリーが見守る中、山内伸弥選手のギャランVR-4の試走を皮切りにトライアルはスタートした。

ハイパーギャランの独壇場となったA-IIクラスは、関西の雄、西尾ギャランが1位、2位には、やはり関西のトップコンテンダー小泉選手が入るといった中、群馬より850kmの道のりをはるばる参戦したCM



好調な走りて2戦目にして3位入賞の荒井選手



CMSC島根からも応援に駆けつけた。

SC群馬の荒井選手が大健闘を見せ3位入賞と好成績を収めると共に、ギャランVR-4がシリーズ連続Vと上位独占をものにした。

ぐちゃぐちゃトライアル参戦記

CMSC群馬

荒井信介



鈴鹿サーキットモトクロス場で行なわれた才3戦は、雨でぐちゃぐちゃのトライアルとなった。久しぶりの鈴鹿、それも雨ですこし不安はあったものの、そんなことは言っていない。1トライ目はちょっとした手違いで走行できず、くやしい思いをした。

どンドンと悪くなる路面を見ながら、やっと2トライ目、あせる気持ちをおちつかせながらスタート。

外周に入ってびっくり、わだちがはなばでなく、車が浮きそうなほど、内周は無理をしたら大きくタイムロスすると言いつつ聞かせながら走行。タイムを聞くとベストタイム。やったと思いつつパドックへ。結局湯本選手に抜かれてしまったが、第2戦より1番上がっての2位入賞は上出来。後半4戦の応援ヨロシク。

CMSC青森・大西ギャラン、CMSC札幌・千田ミラージュ CクラスBクラス揃って3位。

全日本ラリー選手権第2戦

4月2~3日
宮崎県

ひえつき'88

全日本ラリー選手権第2戦「ひえつき'88」が4月2-3の両日宮崎県椎葉村で開催され、三菱車が2クラス完全制覇を達成すると共に、CMSC青森の大西選手がCクラス3位に、またCMSC札幌の千田選手がBクラス3位と、クラブ員が上位入賞を果たした。

ひえつきのコースは、昼間の第1ステージと夜間走行の第2ステージに大きく分けられるが、今回は序盤戦よりギャラン独壇場とも呼べるレースであった。前半の7区のSSでは、大西、大庭、井上、加勢の4台のギャランによる目まぐるしいトップ競いが続き、前回優勝の綾部ブルーバードは、SS6でのみ4台のギャランと同タイムでのトップに何とか顔を出した以外は、ギャラン勢に対し全く歯が立たないといった状態。第1戦で惜しくも優勝を逃した大西選手は、第1ステージを終了した時点で、3位とまらずのポジションをキープ。夜間ステージでの走



第1SSを走る、3位入賞の大西ギャラン

りを期待された、猛チャージを開始した桜井ギャランに逆転を許し、3位で競技を終了した。

またBクラスでは、CMSC札幌の千田選手の乗るミラージュが第1ステージ4位で折り返し、第2ステージのSSのうち、SS10以外のすべてを1位で走り切る快走をみせ、田口ミラージュ、片岡ミラージュに続いて3位に入賞した。



CMSC青森・大西選手(右)



CMSC札幌・千田選手(左)



第2戦Bクラス3位に入賞した千田ミラージュ

CMSC青森・大西ギャラン、コースアウトに泣く。

全日本ラリー選手権第3戦

5月14日
愛媛県

ツール・ド・四国

ギャランVR-4の圧勝に終わった「ひえつき'88」に続く全日本ラリー選手権の第3戦は、舞台を愛媛県に移し、5月14-15日に行なわれた「'88ツール・ド・四国」。前戦で、戦力の高さを証明したギャランVR-4は、その参加台数を徐々に増やし、今回はCクラス参加車輛34台中13台を数えるほど。ラリーは2ヶ所のラリー区間とダートトライアルコースで行なわれ

る2本のSSから成る第1ステージと、6本のSSを含む山間の第2ステージが組まれたコース設定。第1ステージをトップで上がったのは、今シーズン好調の大西康弘ギャラン。第2ステージに入っても、最初のSS3でベストタイムを記録。しかし続くSS4で痛恨のコースアウトをしてしまい残念ながらリタイアしてしまった。また第2戦でBクラス3位に入賞したCMSC札幌の千田ミラージュも、中盤で同じくコースアウトしてしまい姿を消してしまった。CMSC勢は今回、トラブルに泣く選手が多く富士選手も19位で終わった。第4戦北海道での雪辱を期待したい。



第1レグはトップの大西選手だったが……

CMSC山形・砂塚選手、桜井選手(キャロッセ)を押えて優勝!

C地区・シリーズ予選第1戦

3月20日
丸和オートランド

トライアル・ド・ニッポン'88

オールスターダートトライアルの出場権をかけたC地区のシリーズ予選第1戦「トライアル・ド・ニッポン'88」が3月20日丸和オートランド那須のコースで開催された。注目のAIIクラスは、ダートラもギャラン時代を反映して、ギャランVR-4の大拳エントリー。そんな参加者の中に'87全日本ラリーCクラスチャンピオンの桜井選手の姿も。トライアル1本目は、その桜井選手が激しいアタックを見せ、見事ベストタイムをマークして2本目のトライアルへと進んだ。2本目に入ってもラリースト桜井選手は順調にタイムアップをし、優勝を決定づけたかに見えたが、その前に立ち上がったのがCMSC山形の砂塚明男選手。ダートトライアルの意地を見せる快



ダートトライアルの意地を見せた砂塚選手

心の走りを見せ見事逆転し優勝! また4位にはCMSC群馬の荒井介信選手が入り1位から5位までをギャランVR-4が占めダートラでの強さを見つけた。



左より荒井、砂塚、桜井の各選手



砂塚選手の力強い走り